

THE ASAHI SHINKIN BANK

朝日信用金庫の 「地域プロジェクト支援」への取組み

平成 30年 7月 3日 (火)

金融高度化セミナー資料

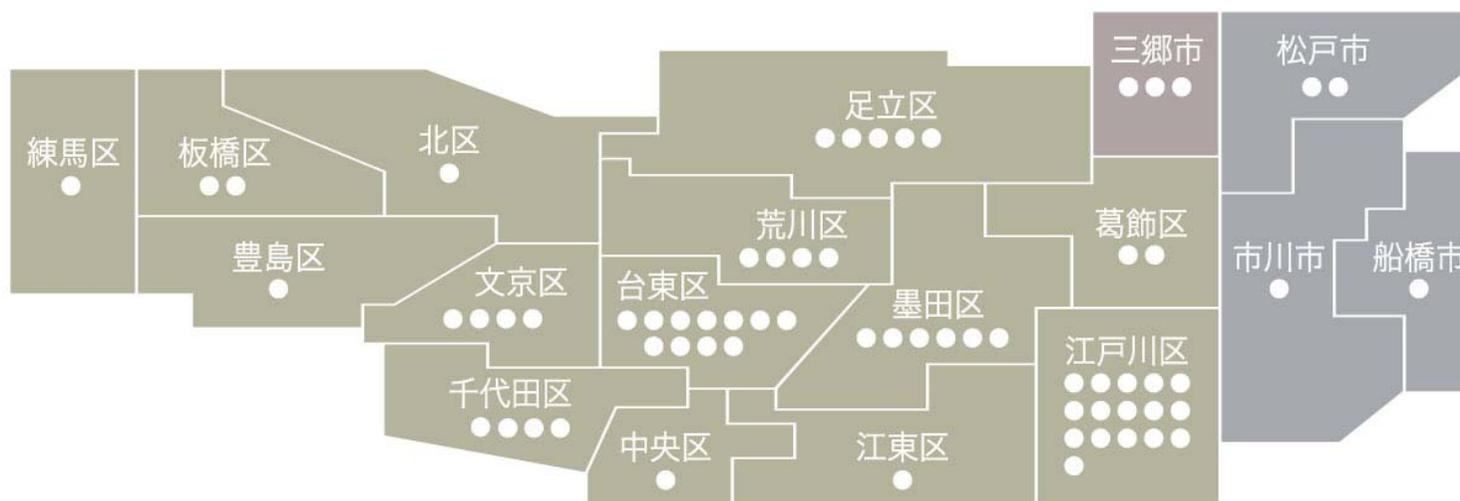


朝日信用金庫

お客さまサポート部

竹尾 伸弘

1. 朝日信用金庫の概要



| | |
|---------|----------------------------|
| 創 立 | 大正12年8月3日 |
| 預 金 | 1兆7,616億円 |
| 貸 出 金 | 1兆273億円 |
| 役 職 員 数 | 1,394名 |
| 店 舗 数 | 66店舗 (うち有人出張所5/インターネット支店1) |

平成30年3月末現在

2. 「谷根千まちづくりファンド」の創設



- ▶ 朝日信用金庫と一般財団法人民間都市開発推進機構との共同出資にて設立
- ▶ 全国で4番目
(関東以北では初めて)
- ▶ ファンド規模は1億円
(過去最大)
- ▶ 目的は「古民家再生・街並み保存」



谷根千:町家と路地の街並み
による「生活文化資源」

都市型の「地方創生」
にひとつの方向性を

5月末に
第1号出資



撮影：田村収氏

3. 朝日信用金庫の企業理念と地域貢献への姿勢

※当金庫の従来の地域貢献

地域の企業・事業者への貢献



地域のイベント等への参画



3カ年計画「創造と革新に向けて」
～地域から真に必要とされる金融機関となる～

- ▶ 地域のお客さまに最も親切で頼りとなる金融機関となる
- ▶ 地元経済の活性化に資する
- ▶ 地方創生に資する業務へ積極的に参画する

具体的に何をやるか？ 何ができるのか？

4. 学識経験者、まちづくり専門家等との交流

学識経験者等との
交流

- ▶ 平成28年より、学識経験者（建築関連、社会学関連）や「まちづくり」専門家との交流を開始

地域の再認識

- ▶ 当金庫の主要テリトリーの「文化的・歴史的価値」の再認識
 - ・上野
 - ・谷中、根津、千駄木（谷根千）
 - ・湯島、神田（社寺会堂） 等

「地域支援」への
気付き

- ▶ 地域の「事業者支援」だけでなく「地域」「町」自体の支援も
- ▶ 谷中の古民家の現状の把握

「まちづくりファンド」の検討へ



撮影：田村収氏

5. 谷中地区の古民家の実情

【谷根千地区地図】

撮影：田村収氏



<失われる谷中の古民家>

1986年調査：約540件 → 2001年調査：約380件 → 2012年調査：約270件

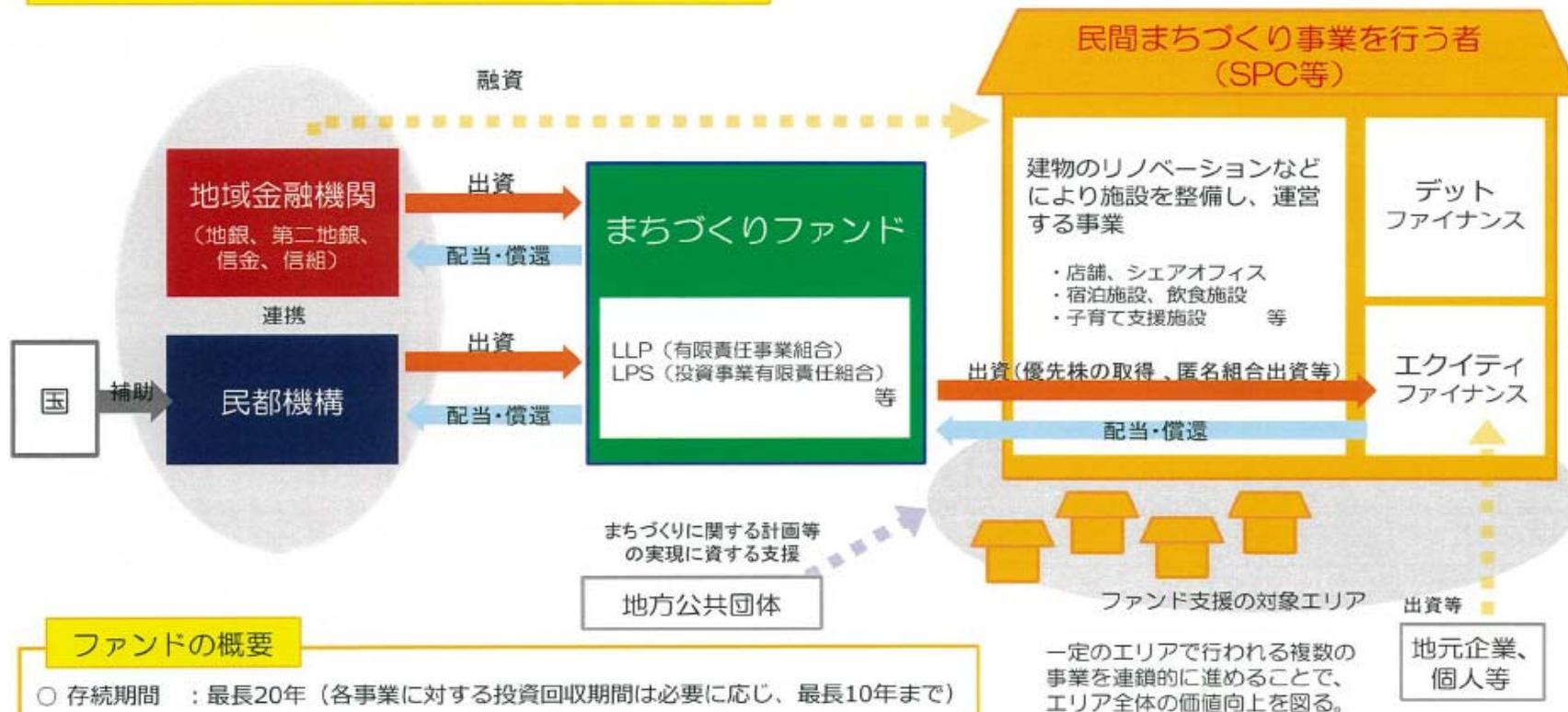
出典①：2002台東区「台東区谷中地区まちづくり基礎調査研究」平成14年3月 東京藝術大学受託研究

出典②：文化庁「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」平成24年度「谷中寺町・暮らしの町 歴史的生活文化の活性化まちづくり事業」特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会のうち、「谷中寺町・暮らしの町 歴史的建造物の総合評価及び実態調査」調査：東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学保存修復建造物研究室 平成25年3月

6. 「谷根千まちづくりファンド」の設立

地域金融機関と民都機構が連携して「まちづくりファンド」を組成し、当該ファンドからの出資により、リノベーションその他の民間まちづくり事業を一定のエリアにおいて連鎖的に進めることで、当該エリアの価値向上を図りつつ、地域の課題の解決に貢献します。

マネジメント型まちづくりファンド支援業務のスキーム図

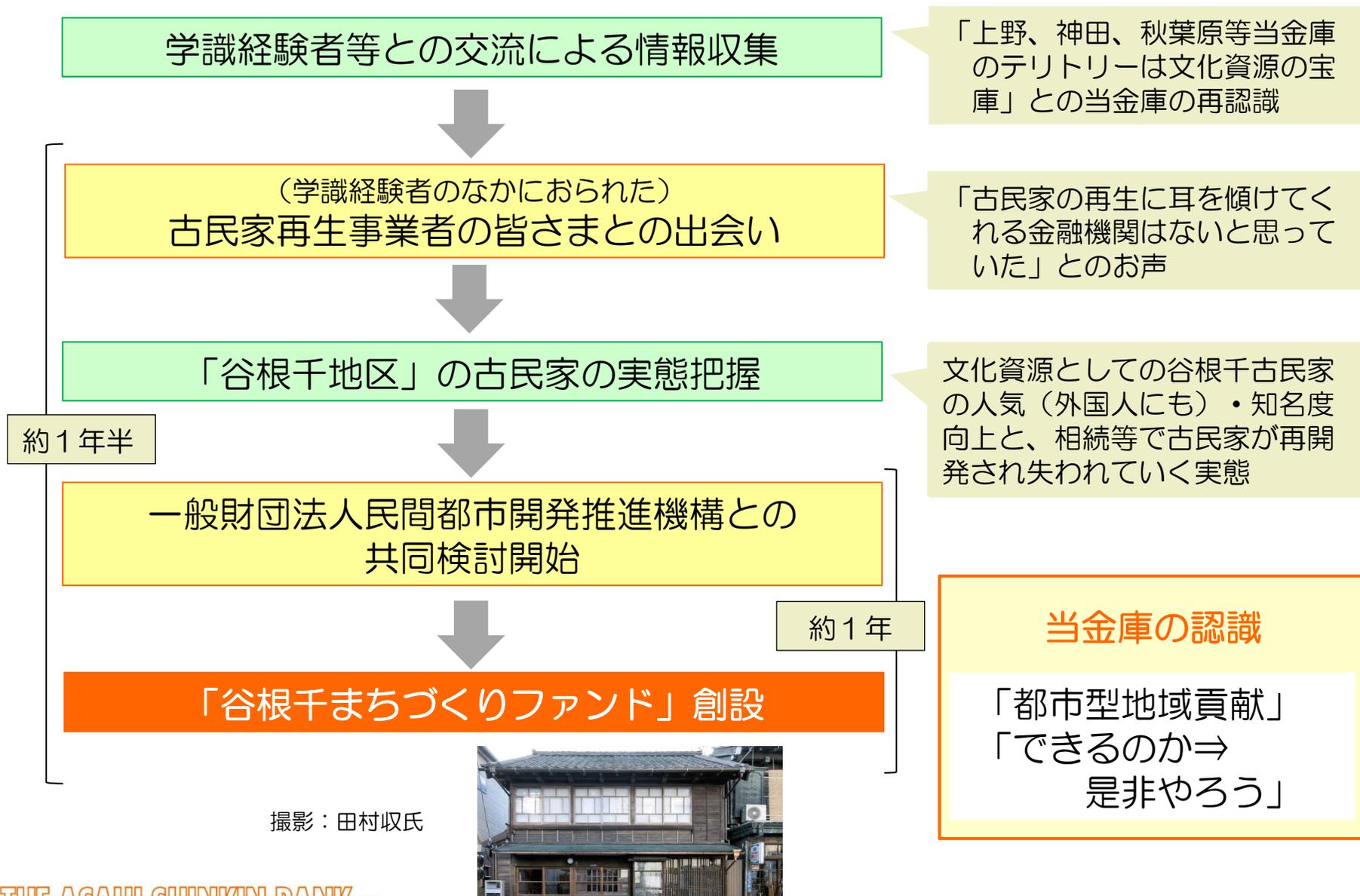


ファンドの概要

- 存続期間 : 最長20年 (各事業に対する投資回収期間は必要に応じ、最長10年まで)
- ファンド形態 : LLP (有限責任事業組合)、LPS (投資事業有限責任組合) 等からファンドの規模等を踏まえて選択
- ファンド規模 : 数千万円~数億円を想定
- 民都機構の出資額 : ファンド総額の1/2を上限

一般財団法人民間都市開発推進機構資料より

7. 「谷根千まちづくりファンド」設立のステップ



8. 古民家再生の実例①

撮影：田村収氏

古民家外観（改装前）



8. 古民家再生の実例②

撮影：田村収氏

古民家外観（改装後・昼間）



8. 古民家再生の実例③

撮影：田村収氏

古民家外観（改装後・夜間）



8. 古民家再生の実例④

撮影：田村収氏

古民家内装（改装前）



古民家内装（改装後）



8. 古民家再生の実例⑤

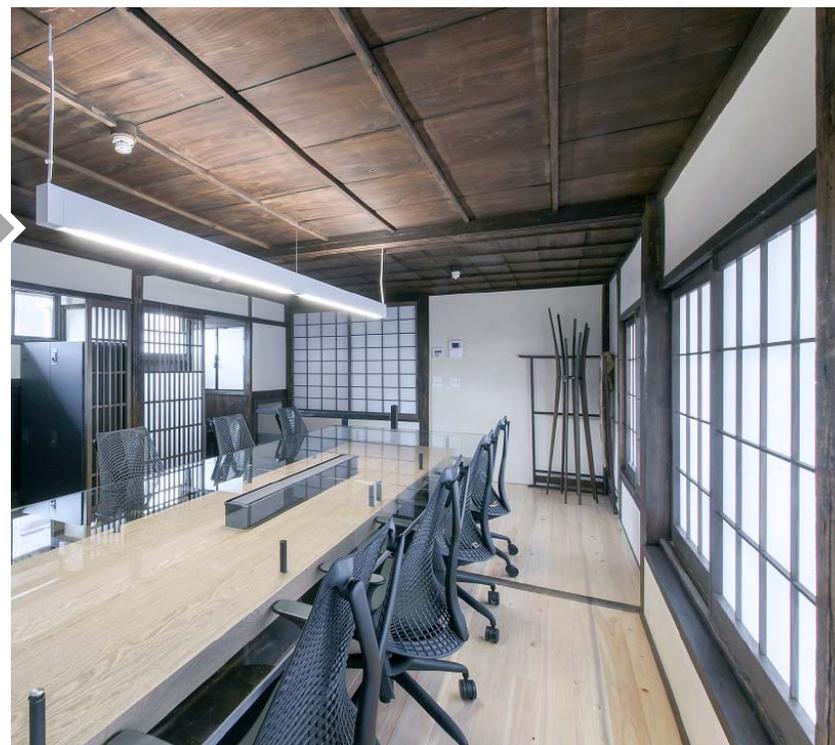
古民家内装（改装前）



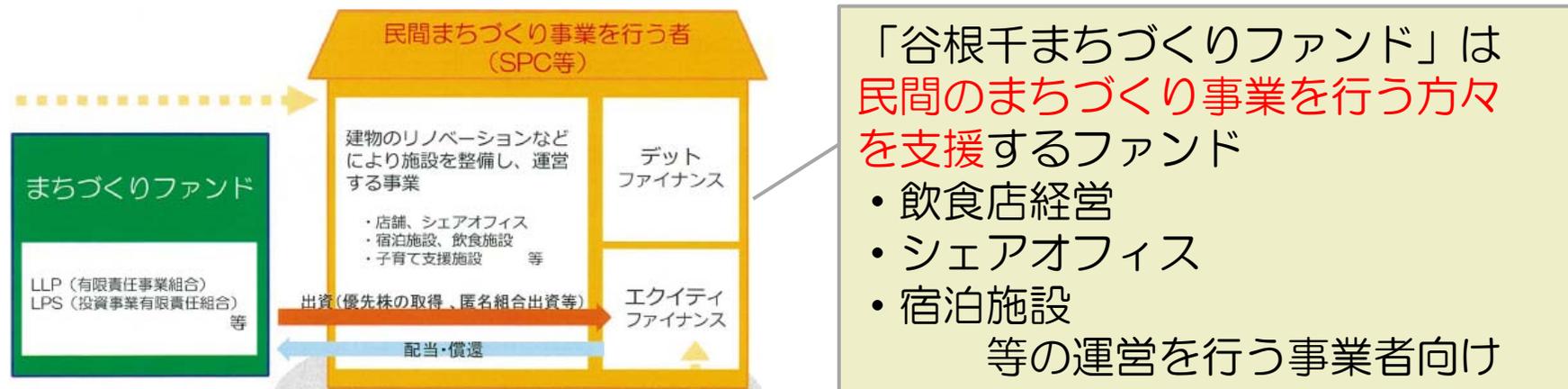
撮影：田村収氏



古民家内装（改装後）



9. 「谷根千まちづくりファンド」を通じて見えてきたもの



①古民家自体が失われる（相続等）ことを如何に防ぐか
⇒「古民家オーナー」希望者の情報収集

②古民家の改修、保存の技術を如何に絶やさないか
⇒「独自の優れた技術を持つ」工事業者の発掘

▶▶朝日信用金庫としてできることは、まだまだたくさんある

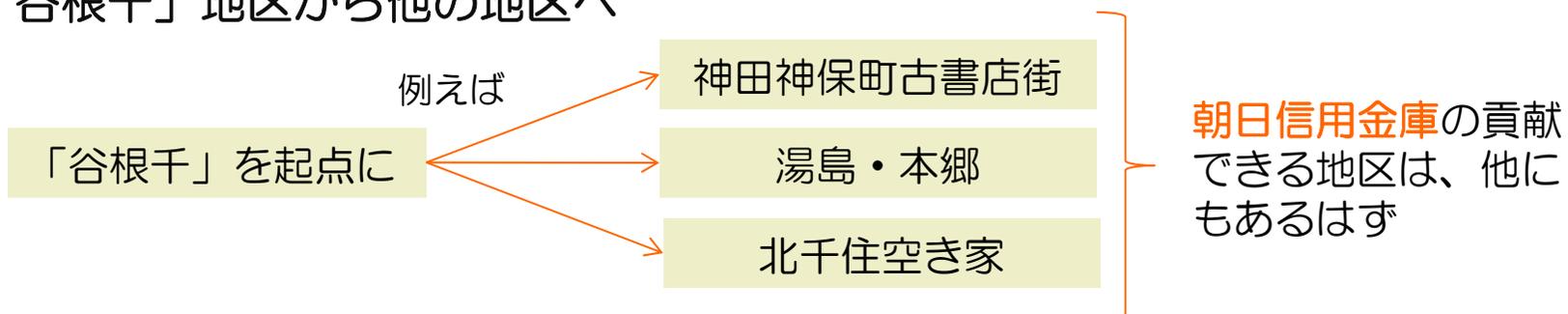
- ▶地域の不動産業者との連携
- ▶取引先工務店の木造家屋に対する技術の確認、マッチング
- ▶地域へのPRや情報発信（古民家活用セミナー等） など

10. 今後の課題

① 「事業性評価」力の更なる向上

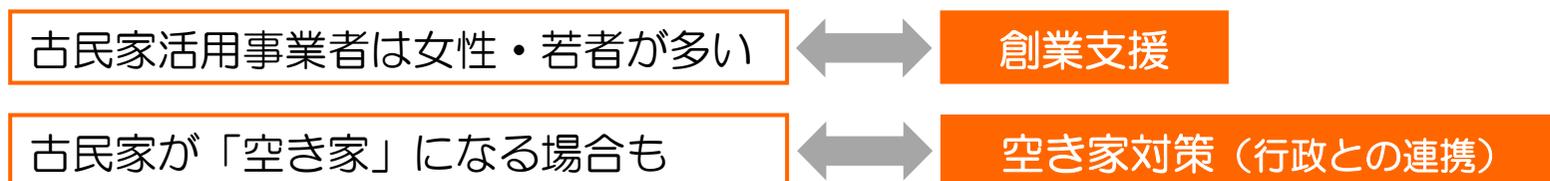
「再生古民家」を活用する事業は、ほとんどがサブ・リース。事業をよく見つめて
投融資を行うことが肝要。

② 「谷根千」地区から他の地区へ



③ 他の「ソリューション」との融合

例えば



④ 古民家再生には様々な意見も

地域の声にしっかり耳を傾けながら、確実に一步ずつ進むことが大切。



朝日。地元応援団

チーム朝日が
全力で応援します!!



ご清聴ありがとうございました